



これまで本学は「OKUTEP (Osaka Kyoiku University Teacher Education Platform)」を運用して、教員や教員志望者がいつでもどこでも自由に学べる学習環境を提供してきました。

令和6年4月からは、愛知教育大学との連携により、OKUTEPを教員生涯学習プラットフォーム「OZONE-EDU (オゾン)」に進化させオンライン研修の一層の充実を図っています。

OZONE-EDUという名称は、地球を守るオゾン層(化学記号O₃)にちなんでおり、教育コミュニティと学習者を守り、支え、育てるプラットフォームの役割を象徴しています。さらに、「O」は「open(開かれた)」「online(オンラインの)」「opportunity(機会)」の三つの価値を表しています。

OZONE-EDUはデジタルバッジとマイクロラーニングを採用した最先端のプラットフォームであり、教員の自立的な学びを支援します。両大学はOZONE-EDUを通じて、教員の専門性の向上および生涯教育の推進を図り、教育分野の発展に貢献することをめざします。

受講登録者数 5,091 名 <small>(令和6年10月1日時点)</small>	提供科目数 45 科目 <small>(令和6年10月1日時点)</small>	連携教育委員会数 6 教育委員会 <small>(令和6年10月1日時点)</small>	受講者満足度 93.2% <small>(令和6年3月31日時点)</small>
---	--	---	---

Point 1 オープンエデュケーション

誰でも・いつでも・どこでも・自由に受講できるオープンエデュケーションとして提供しています。教員は必要とする内容の研修を必要なときに受講することができ、自分のペースで学ぶことができます。

Point 2 マイクロラーニング

2分から15分程度で一つの学習が完結するマイクロラーニングの仕組みを取り入れています。忙しい教員が、通勤・移動中や休憩中などの隙間時間を利用して、学び続けることができます。

藤井寺市教育委員会との取組

藤井寺市教育委員会はOZONE-EDUコンテンツである「学校安全と危機管理」の中の「防災教育」と対面研修を組み合わせた独自のハイブリット研修「学校安全『子どもの命を守る』」を実施しました。研修対象者は事前にオンデマンド研修を視聴し、対面研修を受講しました。



Point 3 デジタルバッジによる履修証明

本学と連携する教育委員会に所属する教員には、すべての学習項目の受講完了後に「能力バッジ」というデジタルバッジが発行され、研修の履修証明として提出することができます。デジタルバッジが研修記録となるため、学校管理職等は研修の奨励を含む適切な指導・助言を行うことができます。

実際に藤井寺市の担当者に感想を聞いてみました!

OZONE-EDUを活用した研修は、オリジナルな研修を実施できることや、オンデマンドビデオは自由な時間に視聴できるので、主催者・受講者ともに時間的な負担が軽減されます。また反転授業として対面研修を行うことで、研修の理解がより深まり効果的でした。利用してとてもよかったです!



実際に発行された能力バッジ

Point 4 教員育成指標と対応した体系的な学び

OZONE-EDUで提供する研修と、連携教育委員会の教員育成指標を対応させたバッジマップを公開しています。教員はバッジマップを見て、教員育成指標を意識しながら研修を選択することが可能です。

